

平成24年度事業報告書

法人の名称 特定非営利活動法人
WE21 ジャパンひらつか

1 事業の成果

- ①資源のリユース・リサイクルを推進する事業は、市民からの賛同が、更に広がり、事業を進めることができた。(寄付者は増えたが、来店者は、対前年比約 23%減と課題を残した)
- ②アジア等における市民、とりわけ女性の生活の向上と自立のための活動を支援する事業は、24年度も引き続き「東日本復興支援」に対しての支援事業とインド、カンボジアへの支援を継続できました。
- ③多文化共生を進めるための事業は、地域の外国にルーツのある子どもたちと日本の子どもたちが、「ちょこっと事業」という読み聞かせや、遊びを通じて互いを知り合いながら友情を育む事業をおこなえた。
- ④地域市民の国際的な意識の自覚を促進する事業は、市民、会員の関心が年々高くなっている。2013年2月に支援先のインドにモニタリングツアーに2名の運営委員が参加して報告会を開催した。また、中高生対象のボランティアを夏休みに受け入れました。
- ⑤この法人の事業の広報普及を図る事業は、ニュース発行年4回、総16,000部発行、会員レターを5回発行。ホームページ、ブログによりタイムリーな広報も進めた。

2 事業内容

(1)特定非営利活動に係る事業

① 資源のリユース・リサイクルを推進する事業

ア WEショップ事業

- ・内容 限りある資源の有効活用を広く市民に伝え、寄付品として提供を受け販売して収益を事業活動と支援事業に活用する。
- ・日時 通年
- ・場所 WEショップひらつか代官町店・・・平塚市代官町 11-30 グリーンビル1階
WEショップひらつか旭店・・・・平塚市徳延 563-2 プレミアムラダ 102
- ・従事者人員 延べ2,000人
- ・対象者 平塚市や、近隣の市民
- ・支出額 11,989,619円

② アジア等における市民、とりわけ女性の生活の向上と自立のための活動を支援する事業

- ・内容 支援先の NGO・NPO の事業を共有し、市民の力が確認できる民際支援活動を行う。支援先のフェアトレード品、リンクアイテムの協力販売を行う。
「東日本大震災復興支援」を目的に、毎月11の売上金の一部と募金をあわせ福島県を拠点に活動する現地 NPO に支援する。
- ・日時 通年
- ・場所 WEショップひらつか代官町店・・・・上記に同じ
WEショップひらつか旭店・・・・上記に同じ
みんな de C a f é・・・・平塚市徳延 563-2 プレミアムラダ 101
- ・従事者人員 10人
- ・対象者 日本、カンボジア、インド、フィリピン、アフガニスタンの主に女性や子どもたち。
- ・支出額 1,936,752円

③ 多文化共生を進めるための事業

ア カフェ事業

- ・内容 人権を擁護し、公正な市民社会を実現するために「みんな deC a f é」を拠点として、相互理解を深めるための各種講座の開催、外国籍市民へのサポートを行う。外国籍親子と日本人の親子が参加し、子どもたちが互いの文化、習慣を楽しみながら学ぶ「ちょこっと」事業に取り組む。
- ・日時 通年
- ・場所 みんな de C a f é・・・上記に同じ
- ・従事者人員 延べ 20 人
- ・対象者 一般市民（子どもを含む）
- ・支出額 3,956,754 円

④ 地域市民の国際的な意識の自覚の促進に関する事業

ア 教育・共育活動事業

- ・内容 WE21 ジャパンひらつかの会員と会員以外の市民を対象に各種講座や、学習会を開催する。またスタディツアー・モニタリングツアー参加者の報告会などを開催する。
- ・日時 通年
- ・場所 ひらつか市民活動センター、みんな de C a f é
- ・従事者人員 12 人
- ・対象者 一般市民
- ・支出額 156,635 円

⑤ この法人の事業の広報普及を図る事業

- ・内容 WEニュースの発行、ホームページ、ブログの活用、会員レターの発行及び店内の掲示等により、タイムリーな情報提供を解りやすくお客様、会員の皆様へ発信する。例えば、WEショップとカフェのキャンペーン、イベント、記念セール等のお知らせ等をする。
- ・日時 WEニュースは年4回、会員レター、ホームページなどは随時通年行う。
- ・場所 ひらつか市民活動センター、広報担当運営委員 P C
- ・従事者人員 4～6 人
- ・対象者 会員及びボランティア、一般市民
- ・支出額 208,135 円